

“超蓄光”塗料 USR-25 標準塗装仕様書

素材	工程				
	下塗り	中塗り	蓄光塗料	トップコート	
木材 金属 (鉄系)	二液型エポキシ系 プライマー(グレー) (強力サビ止め兼)	二液型アクリルウレタン エナメル塗料(白)	USR-25 (各色)	二液型アクリルウレタン クリアー塗料 (必要に応じて)	
	塗装回数	1回	1~2回	3回前後	1回
	塗装間隔	4~72時間以内(20℃)	4~72時間以内(20℃)	4~72時間以内(20℃)	最終養生 24時間以上
	希釈割合	(専用又はウレタンシンナー) 10~30%	(ウレタンシンナー) 10~30%	(ウレタンシンナー) 0~10%	(ウレタンシンナー) 10~30%
	標準塗布量	約150~200 g/m ²	約100~150 g/m ² /回	約150 g/m ² /回	約100 g/m ²
備考	混合比率は、主剤:硬化剤=5:1。 混合後の可使時間は8時間(20℃)。	混合比率は、主剤:硬化剤=4:1。 混合後の可使時間は8時間(20℃)。 下地を白色でしっかり隠すために1~2回塗装してください。	蓄光塗料を塗装する前は24時間以上間隔をとり、中塗り塗料(白)を完全に硬化させてください。	混合比率は、主剤:硬化剤=4:1。 混合後の可使時間は8時間(20℃)。 より上質な表面仕上げを希望される場合は2回塗装してください。	
コンクリート モルタル スレート FRP成型品	二液型エポキシ系 シーラー(透明)	同上	同上	同上	
	塗装回数				1回
	塗装間隔				4~72時間以内(20℃)
	希釈割合				(専用又はウレタンシンナー) 0~10%
	標準塗布量				約150~200 g/m ²
備考	混合比率は、主剤:硬化剤=1:1。 混合後の可使時間は8時間(20℃)。				
旧塗膜がある場合	旧塗膜が強溶剤タイプの場合 … そのまま中塗り工程から塗装を行ってください。 旧塗膜が水性、油性(弱溶剤)タイプの場合 … 弱溶剤系の特殊エポキシシーラー(白)を塗装して下地を硬め、蓄光塗料を塗装してください。				

共通事項

- ・下塗りの前には素地調整を行ってください。(ゴミ・汚れ・サビ・油分の除去、及び付着物に応じて、スクレーパー・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどで表面を調整してください。)
- ・塗料を塗り重ねる場合、必要に応じてサンドペーパー#240~320で表面を研磨してください。
- ・上記の仕様は、ハケ塗り又はローラー使用時の条件です。スプレー吹きで塗装する場合は、スプレーガンに応じて適宜粘度調整を行ってください。
- ・すべての塗装工程終了後は、最終養生として24時間以上確保してください。塗り重ね回数が多くなり塗膜が厚くなると必要以上に乾燥に時間がかかることがあります。数日間十分に養生時間を確保してください。
- ・上記の塗装工程は新設の場合の手順です。既設及び旧塗膜がある場合は、旧塗膜に応じて処置が異なります。研磨、洗浄などで素地調整を行い、強溶剤タイプのアクリルウレタン塗料が塗布可能な場合はそのまま中塗りから塗装を行ってください。水性又は油性などの弱い旧塗膜の場合は、弱溶剤系の特殊シーラー(白)を塗布し旧塗膜を硬めてから、蓄光塗料以降の塗装を行ってください。
- ・蓄光塗料に付随する下塗りなどの塗料は専用品をご用意しておりますが、一般に入手可能な汎用塗料でもご利用いただけます。蓄光塗料を塗布する素材、塗装面の状態及び使用環境に応じてご相談ください。